

「食から日本を考える。NIPPON FOOD SHIFT FES.京都」開催

- ✓ マンガに登場する食事から見る食と農の魅力 【国産でマンガ飯 スペシャルトーク】
- ✓ マンガに出てくる食事を国産食材で再現 【再現！国産でマンガ飯】
- ✓ マンガを通して食・農に触れる選書棚 【マンガとご飯のいい関係】

- 期間：2022年2月12日（土曜日）10時30分～17時30分
- 場所：京都国際マンガミュージアム（〒604-0846 京都市中京区烏丸通御池上ル（元龍池小学校））
- 参加：一般来場者
- 費用：トークイベントは無料で観覧いただけます。（入館には入館料がかかります）
- 主催：農林水産省
- URL：<https://nippon-food-shift.maff.go.jp/fes/kyoto202202>



農林水産省では、食と農のつながりの深化に着目した新たな国民運動「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」を実施しています。

この度、2月12日（土曜日）に京都国際マンガミュージアムにて、農林漁業者・食品事業者および消費者が、日本の食がかかえる課題や目指す未来について、ともに考えるきっかけとなるイベント「食から日本を考える。NIPPON FOOD SHIFT FES.京都」を開催します。



今回のイベントでは、**京都国際マンガミュージアムゆかりのマンガ研究者**と、10年以上前からマンガ飯（※マンガに登場する食事など）を独自に再現しブログで紹介してきた**梅本ゆうこさん**も登壇し、マンガに登場する様々な料理を通して時代や農業といった背景にふれることで、食とマンガの奥深さを知る【**スペシャルトーク**】の他、有名マンガに登場する食事を国産食材で再現した【**マンガ飯の限定販売**】も行います。

また、2月10日（木）からは、主にZ世代の若者にこれからの日本の食を考えてもらうことをコンセプトに、マンガ研究者がそれぞれの視点で選んだ作品を、【**マンガを通して食・農に触れる選書棚**】としてミュージアム内に設置します。

注：当イベントに関しては、新型コロナウイルスの感染防止や行政からの要望、方針により、内容など変更となる場合があります。

トークセッション

2月12日 (土) 14:00~16:00 京都国際マンガミュージアム内 多目的映像ホール

定員 100名 (先着順)

参加料無料 (ミュージアム入場料は別途要)

事前申込不要 ※当日午前10時30分よりミュージアム館内にて整理券を配布

京都国際マンガミュージアムゆかりのマンガ研究者と、10年以上前から、マンガ飯を独自に再現しブログで発信してきた梅本ゆうこさんが、マンガに登場する様々な料理を紹介しながら、食べることの奥にある時代や農業といった背景を知ること、より魅力を増す料理の面白さや、マンガ作品の奥深さを伝えるスペシャルトークを展開していきます。

出演者



梅本ゆうこ
(マンガ食堂)



吉村和真
(京都精華大学専務理事
/マンガ学部教授)



伊藤 遊
(京都精華大学マンガ学部
特任准教授
/国際マンガ研究センター研究員)



倉持佳代子
(京都国際マンガミュージアム学芸員)



ユースギョン
(京都精華大学マンガ学部
特任講師
/国際マンガ研究センター研究員)

再現！国産でマンガ飯

#国産で マンガ飯

日本が世界に誇るカルチャー、マンガに出てくる食事を国産食材で実際に再現！

2月12日 (土) 10:30~17:30 ※無くなり次第終了となります。

京都国際マンガミュージアム内

関西の情報誌『SAVVY』2021年12月号のマンガ飯の企画で再現したレシピの中から、「凧のお暇」の“ぼにぎり”、「女の園の星」の“うどんまん”を国産食材で再現し販売いたします。

マンガに出てくる料理の再現レシピが掲載された冊子を見ながらお楽しみください。

※当日販売するメニューが変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

※新型コロナウイルス感染拡大対策の一環で、その場での食事はできません。

お持ち帰りいただき、ご自宅でお召し上がりください。



マンガを通して食・農に触れる選書棚 マンガとご飯のいい関係

2月10日 (木) ~ 5月9日 (月) 京都国際マンガミュージアム内 特集棚

農林水産省が推進する「NIPPON FOOD SHIFT」の一環として企画された関西の情報誌『SAVVY』と京都国際マンガミュージアムとのコラボ記事「マンガとご飯のいい関係」。本企画は、主にZ世代にこれからの日本の食を考えてもらうことをコンセプトに、京都国際マンガミュージアムゆかりのマンガ研究者がそれぞれの視点から作品をセレクトしました。『SAVVY』誌面では、その一部の料理が再現され、作品についての座談会も行われています。この特集棚では、誌面に登場した研究者のおすすめ作品と、農業・漁業・狩猟をテーマにした作品を集めています。



※写真はイメージです。